

本書は「認定申請の手引き」の抜粋です。技術管理者の認定を対象とした文章となっていますが、登録規程第3条第1号イに関する経歴の記載方法にも準じるので、ご参考ください。

技術管理者の経歴の記載方法

建設コンサルタントの技術管理者認定の申請に関し、記載に曖昧なものが多く見られます。曖昧な記載内容については、評価不能として対象外とする場合がありますので、認定申請の際は、下記の事項について十分ご留意のうえ、技術管理者認定申請書を作成してください。

1. 実務経歴の記載について

申請書の実務経歴証明書は、認定要件として必要とされる実務経歴年数にかかわらず、**認定対象の部門に係る全ての実務経歴を記載してください**。記載に際しては、当該部門に関する実務経歴であることが明確に分かるよう、特に以下の点にご留意の上、具体的かつ詳細に記載してください。

1) 「実務経歴年数」欄について

- ・「実務経歴年数」は1ヶ月～12ヶ月の範囲で、月単位で記載してください。
- ・「(業務)期間」と「実務経歴年数」を一致させる必要はありません。
- ・「実務経歴年数」は「(業務)期間」の内、「業務内容」に記載の項目に専ら従事した期間(延べ関わり期間)を記載してください。従って、「(業務)期間」と「実務経歴年数」が一致する場合は、当該期間において、専ら(他の業務に一切関わることなく)その業務を実施していたことを意味します。

【例】

《業務条件》平成26年6月～27年3月までの10ヶ月間の契約で実施した計4回の委員会資料用計算業務Aの担当技術者

《業務実施状況》業務Aに全期間関与し、かつ同時期に同じ部門の業務B、部門外の業務Cを実施。但し業務Aへの関わりは、委員会1回当たりの1ヶ月相当のほか最終取りまとめ1ヶ月相当。

《算出の考え方》当該期間の業務Aへ全期間関与したものの、業務Aへの延べ関わり期間は計5ヶ月。同様に業務B、Cの「延べ関わり期間」を算出し、当該期間の全(A～C)業務の「延べ関わり期間」の合計が当該期間(ここでは10ヶ月)を超過しないことを確認※する。この確認の際には、**部門外の業務Cを含めたものと比較することに注意すること**。超過していない場合は、当該部門に当たる業務A、Bの「延べ関わり期間」を各「実務経歴年数」として記載する。

※ 超過している場合は当該期間のどこかで「延べ関わり期間」を重複計上していることと同義(例えば業務A:5ヶ月、B:4ヶ月、C:2ヶ月とした場合は合計が10ヶ月を超過しており不可)

申請書の記載項目		申請書の記載項目	申請書の記載項目	実務経歴年数の重複計上確認
期 間	期間(月数)	延べ関わり期間	実務経歴年数	
当該部門 業務A	自 26年 6月 至 27年 3月	10ヶ月	5ヶ月	H26.6～H27.3の10ヶ月 5+4+2 =11>10ヶ月 問題あり
	自 26年 6月 至 27年 3月	10ヶ月	4ヶ月	
当該部門外 業務C	自 26年 6月 至 27年 3月	10ヶ月	2ヶ月	

「延べ関わり期間」を重複計上しているため、見直しが必要。

マクロ機能※を実装した申請様式を配布しています。

※マクロ機能を使用することで、実務経歴証明書の初歩的ミス(記載が必要な箇所に空欄が見られる等)のチェック、実務経歴年数の重複チェック、実務経歴証明書における印刷時のページ割り付け等を自動化することができ、**認定に関する部分なので省略**ファイル内に記載の説明をご覧ください。

ただし、お使いのパソコンまたはセキュリティ環境によっては、マクロ機能が正常に機能しない可能性がございますので、その場合は、ファイル内の「従来の様式」を使用してください。

技術管理者の経歴の記載方法

2)「業務の内容」欄について

企業名、所属部課名、職名等を記載し、本人が従事した設計、調査等の業務について、その**本人の業務上の役割※1、契約名、業務諸元(施設、作業等の寸法・規格)、業務内容(検討手法、施工方法等)、業務のうち実際に担った内容※2**について詳細に記載してください。

※1 業務上の役割については、下記の例を参考に記載してください

- | | |
|----------|---------|
| ○技術総括 | ○総括職員 |
| ○照査技術者 | ○主任監督職員 |
| ○管理技術者 | ○監督職員 |
| ○主任技術者 | ○担当職員※2 |
| ○担当技術者※2 | ○補助職員※2 |
| ○補助担当者※2 | |
| ○作業員※2 | |
| ○補助作業員※2 | |
| ○現場代理人 | |
| ○現場技術者※2 | |

※2 上記※1のうち右肩に※2のある役割については、業務の一部を担う(業務全体ではない)ことが通常であるため、業務内容と担った部分を明確に分けて記載して下さい

諸元や規格・施行方法等の記載方法については、例えば次に示す項目を参考としてください。

- 河川、ダム、道路、橋梁、トンネル、上水道、下水道等の施設の法的位置づけ(道路の種類・名称・種・級、河川の水系名及び級・名称、公共下水道・都市下水路の別などの区分)、対象施設の規模・構造(延長、幅員、高さ、径、面積など)、施工方法・活用した工法など
- 公園、宅地開発、都市計画、港湾計画、区画整理、圃場整備などの具体名称、計画面積、対象施設の規模・構造など
- 環境調査、土質調査、地質調査、ボーリング調査等の調査の対象・目的、調査の規模(延長・数量・面積など)、調査の方法・名称、検討内容など
- 鋼構造・コンクリート、施工計画等における構造物・施設の名称、形式、規格、材質、施工方法など

2.その他注意事項

以下のように、その期間の全てを専らその業務に従事していたと判断できない実務経験については、**適正な実務経験として認めない、もしくは申請された実務経験年数を低減して評価する場合があります。**

- ◆「業務の内容」記載項目が不足している場合(特に法的位置付け、材質等の諸元)
- ◆他の部門の業務である場合
- ◆単純・軽微な業務、補助的な業務や作業、または検討・解析を要しない調査のみ等、十分な技術的内容を含まない業務に係る実務経験である場合
- ◆1つの業務(1行)の実務経験年数が1年を超過、または1ヶ月未満の場合(特に公務員・団体職員経歴)
- ◆1行に複数の実務経験をまとめて記載している場合(特に公務員・団体職員経歴)
- ◆業務の規模・契約金額と比較して実務経験年数が著しく長い場合
- ◆業務の一部のみを担うことが妥当な役割において、業務範囲が明示されていない場合 等

12. 造園部門

業務内容の記載が曖昧な 悪い事例

実務経験証明書

(第1
別添

期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額(千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 調査設計部 リーダー 〇〇児童遊園工事 児童遊園(面積0.08ha) 多目的広場・公衆トイレ・植栽・園路工事、発注に伴う諸施設の実設計補助、ワークショップ運営積算	〇〇 〇〇	→業務における役割が不明 会社内の肩書きだけでは不十分です
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 整備部 研修社員 補助作業員 〇〇通り外15団地植物管理台帳等作成業務 台帳整理 うち 植物調査、管理樹票取り付け	〇〇 〇〇	→業務の語元が不明 業務の規模がわかりません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 造園部 社員 作業員 多目的広場改修工事 多目的芝生広場、多目的ホール、駐車場 うち 駐車場車止め撤去(54台分減)、舗装打替え	〇〇 〇〇	→業務の語元があいまい 業務の規模が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 調査・設計グループ 係長 補助技術者 〇〇地区里山環境整備検討業務 公園・緑地10箇所(計7ha) 区画整理事業区の残置樹木の保全計画、大径木の移植及び表土保全計画、環境共生型設備の配置計画	〇〇 〇〇	→業務における担当範囲・内容が不明 業務内容の他、担当した内容を別途記載して下さい
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 設計グループ チーフ 担当技術者 〇×団地内公園事業基本計画策定調査委託 公園・児童遊園・緑地14箇所(計30ha)、公衆トイレ8箇所 公園利用実態の分析、公園整備・活用方策の検討 うち 調査計画策定、施設配置計画	〇〇 〇〇	→業務における担当範囲・内容があいまい 従事した内容が詳細に把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 設計部 管理課長 現場代理人 〇〇地区公園工事 団地内公園(面積1.0ha)、噴水(100m ²)、芝生広場(2300m ²)、パーゴラ(3基)、ウッドデッキ(200m ²)、樹林地(2500m ²) など	〇〇 〇〇	→業務内容が不明 業務内容がわかりません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 調査設計部 マネージャー 管理技術者 〇〇海浜公園バリアフリー計画策定業務 供用区域140ha、情報の提供手法検討、マニュアルの作成、施設・イベント案内資料の作成	〇〇 〇〇	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 設計部長 照査技術者 〇〇都市公園長寿命化計画策定業務委託 A=550ha、広場A=20ha、各種公園施設N=78、各種器具N=11、各種便益施設N=7、管理施設N=6 施設計画、施設設計、施工計画 (株)〇×設計 代表取締役社長 技術統括 〇〇ホテル中庭日本庭園設計業務委託 A=1.2ha、庭園施設、植栽各種指導、技術的助言	〇〇 〇〇	→あいまいな用語の使用 業務内容が明確に把握できません →実務経験年数がまともでない 業ごとの実務経験年数が把握できません
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)			

このような記載の場合
は経歴として評価され
ない、または低減して評価
されることがあります！

- 記載要領
- 1 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容、従事していた業務上の立場等を詳細に記載すること。
 - 2 RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務についてのみ記載すること。
 - 3 各業ごとに押印すること。

業務内容の記載が明確な 良い事例

赤字は「悪い事例」との違い

(第1
別添

(用紙A4)

期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額(千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 調査設計部 リーダー <u>造園技術</u> 〇〇児童遊園工事 児童遊園(面積0.08ha) 多目的広場・公衆トイレ・植栽・園路工事、発注に伴う諸施設の実設計補助、ワークショップ運営積算	〇〇 〇〇 〇〇 〇〇	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 整備部 研修社員 補助作業員 〇〇通り外15団地植物管理台帳等作成業務 <u>A=345m</u> 台帳整理 うち 植物調査 <u>(108本)</u> 、管理樹票取り付け <u>(108本)</u>	〇〇 〇〇	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 造園部 社員 作業員 多目的広場改修工事 多目的芝生広場 <u>A=0.50ha</u> 、多目的ホール <u>A=230m²</u> 、駐車場 <u>A=1400m²</u> うち 駐車場車止め撤去(54台分減)、舗装打替え	(財)〇〇 〇〇 〇〇 〇〇	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 調査・設計グループ 係長 補助技術者 〇〇地区里山環境整備検討業務 公園・緑地10箇所(計7ha) 区画整理事業区の残置樹木の保全計画、大径木の移植及び表土保全計画、環境共生型設備の配置計画 <u>うち 移植予定樹木リストの作成と移植計画策定</u>	〇〇 〇〇 〇〇 〇〇	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 設計グループ チーフ 担当技術者 〇×団地内公園事業基本計画策定調査委託 公園・児童遊園・緑地14箇所(計30ha)、公衆トイレ8箇所 公園利用実態の分析、公園整備・活用方策の検討 うち <u>利用実態調査計画策定、遊歩道等の配置および遊歩道計画</u>	〇〇 〇〇 〇〇 〇〇	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 設計部 管理課長 現場代理人 〇〇地区公園工事 団地内公園(面積1.0ha)、噴水(100m ²)、芝生広場(2300m ²)、パーゴラ(3基)、ウッドデッキ(200m ²)、樹林地(2500m ²) などの <u>施工監理、出来形確認</u>	(株)〇〇	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 調査設計部 マネージャー 管理技術者 〇〇海浜公園バリアフリー計画策定業務 供用区域140ha、 <u>サイン、紙媒体の運用によるバリアフリー経路情報の提供手法検討、案内誘導サイン</u> マニュアルの作成、 <u>サインと連携した施設・イベント案内資料</u> の作成	〇〇 〇〇 〇〇 〇〇	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 設計部長 照査技術者 〇〇都市公園長寿命化計画策定業務委託 A=550ha、広場A=20ha、 <u>遊具施設N=75、休養施設N=3、健康促進器具N=11、便益施設(トイレ、売店、車庫等)N=7</u> 、管理施設N=6 施設計画、施設設計、施工計画 (株)〇×設計 代表取締役社長 技術統括 〇〇ホテル中庭日本庭園設計業務委託 A=1.2ha、 <u>車庫N=2、本館棟N=1、園路N=430m、噴水N=2、A=0.20ha、植栽(マツ、シカラ、オケナエ、ツツジほか)</u> 指導、技術的助言	〇〇 〇〇 〇〇 〇〇	〇〇, 〇〇〇
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)			

業務内容の一部を担当するのが通常の役割(担当技術者等)においては、担当した内容を別途記載して下さい

→複数業務に対し包括的に関わることが求められる役割(技術統括等)においては、技術的な関わり方について具体的に記載して下さい

- 記載要領
- 1 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容、従事していた業務上の立場等を詳細に記載すること。
 - 2 RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務についてのみ記載すること。
 - 3 各業ごとに押印すること。

13. 都市計画及び地方計画部門

業務内容の記載が曖昧な 悪い事例

実務経験証明書

(第1
別添

期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額(千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× プロジェクト推進室 主査 〇〇会館整備基礎資料作成業務 A=0.9ha 文化交流施設新築に係る基本計画作成、建設地選定に係る都市計画基礎調査、施設規模・内容の決定に係る各調査のための発注者支援	〇〇 〇〇	→業務における役割が不明 会社内の肩書きだけでは不十分です
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 地域開発部 研修社員 補助作業員 公共施設引継書作成業務委託 〇〇土地区画整理事業 うち 公共施設引継書作成補助、とりまとめ	〇〇 〇〇	→業務の諸元が不明 業務の規模がわかりません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 都市計画課 社員 作業員 〇〇土地区画整理事業 A=5.0ha うち 道路占用許可申請書準備、許可証台帳整理	〇〇 〇〇	→業務の諸元が曖昧 業務の規模が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 環境計画課 係員 補助技術者 〇〇公園基本計画委託(その1) A=16.0ha、総合運動公園改修計画	〇〇 〇〇	→業務における担当範囲・内容が不明 業務内容の他、担当した内容を別途記載して下さい
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 環境計画課 係長 担当技術者 都市公園長寿命化計画策定業務委託 都市公園4箇所(〇〇公園10ha、〇〇公園5ha、〇〇公園3ha、〇〇公園2ha) うち 各種施設データの収集・整理および台帳作成	〇〇 〇〇	→業務における担当範囲・内容が曖昧 従事した内容が詳細に把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 都市開発部 次長 現場代理人 〇〇地区市街地再開発事業 再開発事業4.0ha、再開発施設7棟 延床面積150000㎡	〇〇 〇〇	→業務内容が不明 業務内容がわかりません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× プロジェクト推進室 主事 管理技術者 〇〇市災害公営住宅整備・供給に係る実施計画策定検討業務 供給規模360戸 整備面積2.3ha 市民意向調査、計画検討一式、各種要項作成、標準仕様書作成	〇〇 〇〇	→業務内容が曖昧 業務内容が詳細に把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 設計本部 相談役 照査技術者 〇〇市街地再開発設計関連事業推進業務 市街化区域6.3ha、再開発目的ビル4棟、商業ビル2棟 設計変更、設計変更に伴う各種許認可申請書作成 (株)〇× 監査役 技術総括 〇〇駅周辺公共交通基本構想策定業務(その2) 対象地区約92ha まちづくりマスタープランの変更(土地利用、交通基礎調査、計画理念の検討、交通導線検討) うち 指導、技術的助言	〇〇 〇〇	→あいまいな用語の使用 業務内容が明確に把握できません →実務経験年数はまともでない 業務ごとの実務経験年数が把握できません
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)			

このような記載の場合
は経歴として評価され
ない、または低減して評価
されることがあります！

- 記載要領
- 1 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容、従事していた業務上の立場等を詳細に記載すること。
 - 2 RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務についてのみ記載すること。
 - 3 各業ごとに押印すること。

業務内容の記載が明確な 良い事例

赤字は「悪い事例」との違い

(第1
別添

(用紙A4)

期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額(千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× プロジェクト推進室 主査 現場技術 〇〇会館整備基礎資料作成業務 A=0.9ha 文化交流施設新築に係る基本計画作成、建設地選定に係る都市計画基礎調査、施設規模・内容の決定に係る各調査のための発注者支援	〇〇不動産(株)	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 地域開発部 研修社員 補助作業員 公共施設引継書作成業務委託 面積146.0ha 、〇〇土地区画整理事業 うち 公共施設引継書作成補助、とりまとめ	〇〇市	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 都市計画課 社員 作業員 〇〇土地区画整理事業 A=5.0ha うち 道路占用許可(県道、市道)申請書準備 N=150 、許可証台帳整理	〇〇市	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 環境計画課 係員 補助技術者 〇〇公園基本計画委託(その1) A=16.0ha、総合運動公園改修計画 うち 老朽化施設・器具の撤去作業動線の計画、作業車両搬入路計画	〇〇株	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 環境計画課 係長 担当技術者 都市公園長寿命化計画策定業務委託 都市公園4箇所(〇〇公園10ha、〇〇公園5ha、〇〇公園3ha、〇〇公園2ha) うち 長寿命化計画を策定するための管理器具施設データの収集・整理および台帳作成	〇〇県	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 都市開発部 次長 現場代理人 〇〇地区市街地再開発事業 再開発事業4.0ha、再開発施設7棟 延床面積150000㎡ 街区基礎整備工事監理、街区道路工事監理	(株)〇〇総合研究所	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× プロジェクト推進室 主事 管理技術者 〇〇市災害公営住宅整備・供給に係る実施計画策定検討業務 供給規模360戸 整備面積2.3ha 市民意向調査、 エリア別世帯別戸数計画検討、市民意見要項作成、住宅標準仕様書作成	〇〇県住宅整備公社	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 設計本部 相談役 照査技術者 〇〇市街地再開発設計関連事業推進業務 市街化区域6.3ha、再開発目的ビル4棟、商業ビル2棟 条件変更に係る設計変更(変更設計図作成、変更全体設計書作成)、建築確認変更申請書作成、住宅性能評価書作成 (株)〇× 監査役 技術総括 〇〇駅周辺公共交通基本構想策定業務(その2) 対象地区約92ha まちづくりマスタープランの変更(土地利用、交通 基礎調査 の基礎調査、 都市計画理念 の検討、 駅前広場交通導線 検討) うち 指導、技術的助言	〇〇地区市街地再開発組合	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 設計本部 相談役 照査技術者 〇〇市街地再開発設計関連事業推進業務 市街化区域6.3ha、再開発目的ビル4棟、商業ビル2棟 条件変更に係る設計変更(変更設計図作成、変更全体設計書作成)、建築確認変更申請書作成、住宅性能評価書作成 (株)〇× 監査役 技術総括 〇〇駅周辺公共交通基本構想策定業務(その2) 対象地区約92ha まちづくりマスタープランの変更(土地利用、交通 基礎調査 の基礎調査、 都市計画理念 の検討、 駅前広場交通導線 検討) うち 指導、技術的助言	〇〇県〇〇市	〇〇, 〇〇〇
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)			

→複数業務に対し包括的に
関与することが求められる
役割(技術総括等)にお
いては、技術的な関わり
方について具体的に記載
して下さい

- 記載要領
- 1 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容、従事していた業務上の立場等を詳細に記載すること。
 - 2 RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務についてのみ記載すること。
 - 3 各業ごとに押印すること。